

私^の視点

鳥取の皆さまが鳥取の地で見せていた。その緊張も受け止めて数々。保育園児との交流でまことにちがったその実践は、まさに園児を理解しようとする一は。私は遠く目から鱗うろこの実践だったののおかげでどんどん表情が生懸命な姿。まったく言葉石川県にいなです。やわらかくなる。素直な気が通じない外国からの転入から、幸運に子どもたちが赤ちゃんと持ちが言葉になっていく。

も鳥取大学の向き合い、優しくやさしく笑顔があちこちで生まれ、高塚先生がアほほ笑むその表情の変化か心と心が通じ合っていく。自分の素直な気持ちで誠心

「赤ちゃん登校日授業」を体験させていただいた、まいました。そして昨年の満足感でお互いの心が満た

金沢市立野町小学校の五年担任です。あれは昨年の三月のこと。日々「目の前の子どもたちを救いたい」と、強い願いをもっている学校 九月、ここ野町小学校でも「赤ちゃん登校日授業」が行われ、鳥取での高塚先生をお招きして「赤ちゃん登校日授業」が行わ

「赤ちゃん登校日授業」が実現しました。そしてその奇跡は続いていきます。認め合える幸せを

「赤ちゃん登校日授業」が実現しました。そしてその奇跡は続いていきます。認め合える幸せを

初めてその名称を聞いたとき、何となく赤ちゃんを抱っこしたとき、子どもたちの笑顔だけが浮かんでくるだけでした。とこ

「赤ちゃん登校日授業」が実現しました。そしてその奇跡は続いていきます。認め合える幸せを

2. 10 日本を救う！鳥取発の「赤ちゃん登校日授業」

「赤ちゃん登校日授業」が実現しました。そしてその奇跡は続いていきます。認め合える幸せを

「赤ちゃん登校日授業」が実現しました。そしてその奇跡は続いていきます。認め合える幸せを

「赤ちゃん登校日授業」が実現しました。そしてその奇跡は続いていきます。認め合える幸せを

「赤ちゃん登校日授業」が実現しました。そしてその奇跡は続いていきます。認め合える幸せを

「赤ちゃん登校日授業」が実現しました。そしてその奇跡は続いていきます。認め合える幸せを

「赤ちゃん登校日授業」が実現しました。そしてその奇跡は続いていきます。認め合える幸せを

「赤ちゃん登校日授業」が実現しました。そしてその奇跡は続いていきます。認め合える幸せを